

No. 1372

天皇誕生日

天皇陛下の79歳の誕生日を祝う恒例の一般参加が4月29日、新緑の皇居で行われました。天皇陛下は皇后さま、皇太子ご夫妻常陸宮ご夫妻とともに「長和殿」のベランダにお立ちになり、何度も手を振って国民の祝賀にこたえられていました。今年の2月に成年式を迎えた浩宮さまも初めてお立台に立たれました。植物観察のお好きな天皇陛下。陛下は昭和47年から静岡県下田市の須崎御用邸とその周辺でどんな植物が生育するかなど研究を続けられていましたが、このほどその研究をまとめられ、本にして出されることになりました。五月、三重県で行われる植樹祭をひかえてますますお元気な天皇陛下です。

光と色彩 —フランス近代絵画展—

近代絵画の夜明けをもたらした印象派巨匠たちの作品を一堂に集めた「印象派—光と色彩の画家たち—フランス近代絵画展」が東京、新宿の小田急デパートで開かれています。会場には印象派の先駆者コローからルノアール、ゴッホまでの画家26人の作品85点が展示され、訪れた人々は名作の数々に魅せられていました。印象派のなかで最も温和で詩情豊かな画家シスレー。「疲れた踊り子」など動きの中の一瞬の美しさを好んで表現したドガ。ルノアールは輝くような色調で女性のぬくもりとやしさを表現し、官能的な生命の賛歌をうたいあげています。一世紀も経った今、見るものに新鮮な感動を呼び起こす光と色彩の冒険者たち。

再燃！紋次郎ブーム —群馬・藪塚—

昭和47年、笛沢左保原作「小枯し紋次郎」ブームに乗り、新しい観光地となった群馬県藪塚本町は今まで紋次郎ブームが沸き起っている、藪塚温泉内の丘に、江戸時代後期の時代考証に基いて当時の景観、雰囲気、日常生活と風俗を再現した三日月村が誕生したのだ。村には道祖神、水車小屋、名主の屋敷、紋次郎の生家等があり、街道筋には関所、絵馬堂などがある。この村では日本銀行が発行した日本円は使用できない。すべて三日月村で発行しているお金と両替しなければならない。居酒屋で三文でお酒のみ、二文でまんじゅうを買う。「これ何文？」「8文でございます」「えーと、8文というと……」まるで外国へでも来た感じだ。江戸時代の旅人の気分、あなたも一度味ってみたらいかが……。